

◆総務委員会(8月3～5日)

奈良市・奈良県立大学について(写真)

長野市・都市内分権推進計画について

国分寺市・国民健康保険の運営について

奈良県立大学は、地域創造学部150名の少人数制のもと、地域での体験学習を柱に、住民や企業などと密接に連携して細かな指導で特色を出していました。



長野市の都市内分権は、住民自治協議会を市内32地区に設置し、地域いきいき運営交付金などの財政支援をしながら地域主体で事業を進めており、事業の審査や評価などで課題はありましたが、地元住民の熱意を反映するまちづくりを進めています。

国分寺市の保険税収納状況は都内で第3位。滞納督促は年6回実施するなど、公平・公正の観点から力を入れています。

常任委員会の視察報告

◆民生福祉委員会(7月21～23日)

砂川市・砂川市立病院経営について(写真)

旭川市・障がい者自立支援について

札幌市・生活保護自立支援について

砂川市立病院は、急性期基幹病院としての機能をより一層充実させ、地域完結型医療をめざしています。当病院も慢性的な医師不足でしたが、その解消のための独自な取り組みとして、3医科大学と連携し医学生に研修プログラムを提供し、今では多くの研修医を受け入れています。



研修医が増えれば、医師の過重労働の減少にもつながり、研修医が求める指導を徹底的に実施することにより卒業後も当病院に残るケースが増えているとのこと。医師不足の中、地域完結型医療をめざす本市市民病院にとっても参考になりました。

◆建設水道委員会(8月3～5日)

山形市・上下水道行政について

福島市・自転車利用環境総合整備事業について

横須賀市・橋りょう長寿命化修繕計画について(写真)

入札制度について



福島市では「自転車利用環境整備モデル都市」の指定を受け、平成12年に自転車利用環境総合整備基本計画を策定し、車道の自転車通行帯部分のカラー舗装化などにより自転車通行帯を整備し、自転車利用の視点から、交通環境の整備を図っていました。また、自転車交通の利便性の向上と自転車駐車対策を進めるため地元商店街と協力し自転車駐車場を整備するなど、地形的・気象的特性から自転車利用に適した自治体として、時間をかけて安全、快適でにぎわいのある未来都市整備が一步一步進められていることを実感しました。

◆文教経済委員会(8月3～5日)

京都市・観光資源としての龍馬の発信について

霊山歴史館友の会の活動状況について

伊賀市・モクモク手作りファームの運営について

橿原市・重要伝統的建造物群保存地区について(写真)

京都市では、坂本龍馬を観光資源として発信している現状と、日本で唯一の幕末・明治維新専門ミュージアム・霊山歴史館の活発な友の会活動の運営を視察しました。



伊賀市の農事組合法人では、農業振興を通じて地域の活性化を図るなど、多面的な経営をしていました。

橿原市今井町では、国の重要文化財などの指定建造物も多く保存されており、また、約600軒の民家のうち、約500軒が江戸時代から続く伝統的な様式を引き継いで、今も日常生活との両立を図っていました。

編集後記

猛暑が続く中で開会された9月議会。高齢者の所在不明問題、幼児虐待事件など、市政にとっても大切な課題が次々と投げ掛けられ家族や地域のひとと人とのつながりが、ほころんできている社会状況に危機感を感じています。

こうした悲しい事件で犠牲となるのは、弱い立場にある高齢者や幼児たちです。しっかりとした景気・経済の立て直しで、生活の安定を図り、心豊かな市民生活を。そのために市議会も頑張っていきます。(池上)

【ホームページアドレス】

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/gikai/>

【メールアドレス】

gikai-shomu@city.fukuyama.hiroshima.jp